

IBD 患者におけるワクチン接種 エキスパートコンセンサス

研究協力者 氏名 石毛 崇 所属先 群馬大学小児科 役職 講師

研究要旨：内科および小児科専門医によるワーキンググループを組織し、コンセンサスに基づいた IBD 患者に対するワクチン接種の手引きを作成した。「ワクチンで予防可能な疾患（VPD）」「生ワクチン」「不活化ワクチン」「妊娠・出産とワクチン接種」の4領域に対し、19の質問およびその解説を作成した。

共同研究者

清水俊明（順天堂大学小児科）
久松理一（杏林大学医学部消化器内科）
渡辺憲治（兵庫医科大学炎症性腸疾患センター内科）
新井勝大（国立成育医療研究センター消化器科/小児 IBD センター）
亀井宏一（国立成育医療研究センター腎臓・リウマチ・膠原病科）
工藤孝広（順天堂大学小児科）
国崎玲子（横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター）
徳原大介（大阪市立大学小児科・和歌山県立医科大学小児科）
長沼誠（関西医科大学内科学第三講座）
水落建輝（久留米大学小児科）
村島温子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）
猪野木雄太（国立成育医療研究センター消化器科/小児 IBD センター）
岩田直美（あいち小児保健医療総合センター感染免疫科）
岩間達（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科）
肥沼幸（国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター）
清水泰岳（国立成育医療研究センター消化器科/小児 IBD センター）
神保圭佑（順天堂大学小児科）

高木祐吾（熊本赤十字病院小児科）
高橋昌兵（杏林大学関連施設 佼成病院 小児科）
趙有季（大阪市立大学小児科）
南部隆亮（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科）
西田大恭（横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター）
萩原真一郎（大阪母子医療センター消化器内分泌科）
匹田典克（大阪市立大学小児科）
藤川皓基（国立成育医療研究センター消化器科/小児 IBD センター）
細井賢二（東京都立小児総合医療センター消化器科）
細見周平（大阪市立大学医学部附属病院消化器内科）
三上洋平（慶應義塾大学医学部消化器内科）
三好潤（杏林大学医学部消化器内科）
八木隆介（桐生厚生総合病院小児科）
横山陽子（兵庫医科大学炎症性腸疾患センター内科）

A. 研究目的

IBD は若年で発症し、かつ免疫抑制療法を生涯にわたり継続する必要がある症例が少ない。これら症例では学童期や妊娠・出産を控えワクチン接種を必要とする際に、IBD 治療の影響が懸念される。本研究では IBD 診療に携わる医師がワクチン接種に関する情報を適切に収集できる指針を作成することを目的とした。

B. 研究方法

31名の研究者によるワーキンググループを組織し、学童期・成人に対するワクチン接種およびワクチンにより予防できる疾患への対処について、文献および国内専門家の見解をもとに、特にIBD患者において留意すべき点を中心に質問と要約、解説文を作成した。

C. 研究結果

「ワクチンで予防可能な疾患 (VPD)」「生ワクチン」「不活化ワクチン」「妊娠・出産とワクチン接種」の4領域に対し、19の質問およびその解説を作成した。国内の関連ガイドラインや海外におけるIBD患者への予防接種ガイドラインなどを参照し、主要な文献データも交えて作成し、全体討議にて内容の修正を行った。以下、掲載された19の質問を示す。

(VPD)

- IBDによってVPDのリスクが高まるか？
- VPDのリスクが高まる注意すべきIBDは何か？
- 診断時にワクチン接種歴とVPD既往歴を確認すべきか？
- 診断時にVPDの抗体価を測定すべきか？
- 抗体価が低直であればワクチン接種あるいは追加接種すべきか？
- 接種後あるいは経過中に抗体価を測定すべきか？

(生ワクチン)

- 免疫抑制療法中の患者に対して生ワクチンは接種できるか？
- 生ワクチン接種と原疾患の治療のどちらを優先すべきか？ また、生ワクチン接種を接種する際、免疫抑制療法導入前後に、どれくらいの期間を設けるべきか？

(不活化ワクチン)

- 免疫抑制療法使用中患者に対する不活化ワクチンは推奨されるか？

• 不活化ワクチン接種を控えるべき状況はなにか？

• インフルエンザワクチンは毎年接種すべきか？ 2回投与したほうがよいか？

• 帯状疱疹不活化ワクチンはIBD患者に有効か？

• 肺炎球菌ワクチンは高齢者患者に接種すべきか？

• 抗TNF- α 抗体製剤使用中の患者に不活化ワクチンを接種する場合に、投薬と不活化ワクチン接種のタイミングは配慮すべきか？

(妊娠・出産)

• 妊娠を希望するIBD患者に接種が勧められるワクチンは？

• 妊娠中の女性IBD患者にワクチン接種は可能か？

• 妊娠中に免疫抑制薬治療を行ったIBD女性患者から出生した児はワクチンを接種してよいか？

• 免疫抑制薬治療中の女性IBD患者が授乳している児はワクチンを接種してよいか？

D. 結論

不活化ワクチンについては安全に接種ができること、生ワクチン接種に当たり注意が必要であることを中心に、注意すべき感染症などについても記載し、IBD臨床に携わる医師にとって有益なエキスパートコンセンサスを作成することができた。

E. 研究発表

1. 論文発表

論文投稿準備中

研究班ホームページ上に一般公開を予定

F. 知的財産権の出願・登録状況

予定なし